

セラピスト自身の「癒やされ度」は、
クライアントにも伝わる!!

セラピストのための

Yuki式セルフチネイザンのススメ!

いつだって100%な状態でクライアントに向き合いたい!

でも、セラピストだって人間。疲れやイライラが溜まって、前向きになれない時も当然あるもの。

そんなときにどうやって気持ちや身体をリセットすればいいのでしょうか?

東洋医学や陰陽五行などの伝統的療法を独自に組み合わせたメソッド「Yuki式チネイザン」考案者のYukiさんに伺いました。

Yuki ◎文一般社団法人内臓マッサージ協会代表理事 写真◎漆戸美保

100%自分が癒されている 状態で施術に臨もう

セラピストとして活動する中、皆さんはこんな経験がありませんか?

「心身ともに疲れているけれど、朝からお客さんの予約が入っているから、お店に出なくてはならない」

「スケジュールが詰まっているけれど、常連のお客さまの予約は断れないから、自分や家族との時間を削る」

私はセラピスト&インストラクターとして活動

していた初期、このような事態に見舞われ、遂には自分の体調を崩してしまうことが多々ありました。予約が入るのはとても嬉しいことですし、できればお客さまの期待に100%応えたい。そんな気持ちでひたすら施術をしてきて、遂には右肩が上からなくなってしまうことさえあります。寝込んで見上げた天井から、ふとこんな声が聞こえてきました。「心から癒されていないセラピストに施術されても、お客さんを心から癒すことはできないんだよ」と。この言葉は私のセラピスト人生を一転することとなりました。「そうだ、お客さまを心底癒したいと思うなら、まずは

100%自分が癒されている状態で施術に臨めるようにしよう! そうすることが実は一番の近道なのかもしれない!」と。

そこで、従来から教えていた自分で自分を癒す「セルフチネイザン」を、私と同じような環境で悩んでいるセラピストやヨガなどのインストラクターたちに伝えたいと、セルフチネイザンを日本中に普及する決意をしました。ちょうどこの時は、東北の大震災直後で、日本中が皆、「癒し」を必要としている時でもありました。セルフチネイザンの根底には、「自分という一番大切な存在を、まず一番先に癒すことから始めよう。そうするこ



Profile Yukiさん

ゆき 一般社団法人内臓マッサージ協会代表理事。「たまよる庵」主宰。体調不良で病院に行くも、医者にさじを投げられ、「自分の不調は自分で治す」ことを決意。インド、タイなどで修行を積み、チエンマイでチネイザンに出会う。その後、自分自身で感情と内臓を癒すセルフチネイザンを開発、普及に努めている。DVD「タオの伝統医療 チネイザン入門」(BABジャパン)を指導・監修。